

A 最後に、コミわかの組織体制に呼応できる各区の体制作りを各区・自治会で再検討してもらうことが必要になってきています、住自協体制がスタートして5年経ち、27年度は新しい5年目のスタートの時期に当たります。そのために今年の区長さん達には2、3年かけて、各区の組織を見直し、コミわかに呼応できる組織体制に改造してもらうことも必要ではないかと思っています。これにより、区とコミわかの協働の実があがり、より住みよいまちづくりにつながっていくものと確信しています。

必ずしも皆さんの期待に応えられる十分な仕事ができなかつたかもしれません、自分としては力一杯やらせていただきました。ご協力いただいた役員さんや事務局の皆さんのおかげで何とかこの1年勤め上げることができました。ありがとうございました。

Q 荒木会長ありがとうございました。会長の熱い思いを次につなげていくよう私たちも若槻地区の更なる発展に向かって27年度も頑張ってまいります。

新駅建設促進に向けて

広報委員長 福澤 正隆

「北しなの線」開業に先立つ2月23日(月)に、「三才駅利用推進協議会」、並びに「新駅建設促進期成同盟会」が古里総合市民センターに関係者が参集して設立されました。

大勢の取材陣も来た会場で、最初に「三才駅利用推進協議会」設立総会が、来賓の藤井武晴しなの鉄道社長も出席して開かれ、満場一致で承認されました。引き続き、「新駅建設促進期成同盟会」が、来賓の鈴木清県議、黒田孝春長野高専校長も出席して開かれ、満場一致で承認されました。

厳しい経営が予想される中、地域の足として愛される鉄道を目指す「地域の推進母体が誕生」した瞬間でした。

今回設立された「2つの会」の母体となった研究会では、この2年、若槻・古里両地区の役員(区長など)、高専の先生・学生が、民営化される三才駅と新駅をどうするかと、喧々諤々の議論をしてきました。まるでおじいちゃんの孫の会話でしたが、数々の夢とアイディアがでました。数年先、皆が語り合った「新駅には学生、三才駅には三歳児と特色ある乗客や地域住民があふれる二つの駅」が実現する様、更なる活動に期待したいと思います。

しなの鉄道(第三セクター: 上田市)『北しなの線』が開業



3月14日(土)の華やかな北陸新幹線の開業イベントを横目に、同日「北しなの線」が静かに開業し、三才駅では開業記念の列車を迎えるイベントが開催されました。ホームでは多くのお祝いの人々が小旗を振りながら、列車を送迎しました。

写真の様に乗客があふれる駅として存続させるために、古里の皆さんと立ち上げた「三才駅利用推進協議会(前述)」を中心に利用促進運動をやっていこうと、誓いを新たにしました。



今年度も開催します!

学んで「ぴっかり」暮しましょう 共催: 長野市包括支援センター若槻ホーム・コミわか健康部会

ぴっかり教室(全11回)・・・知つて安心これからのお知恵・・・

◆場所 若槻コミュニティセンター大会議室 ◆時間 10時~11時30分

日 程	内 容
4月22日(水)	教えて? 介護保険制度って何?
5月27日(水)	どんなもの? 介護用品の種類や料金って?

※4月→介護保険制度が見直しされたことも踏まえ、詳しく制度について

5月→実際に介護用品を見ながら、使い方・利用するにあたっての料金など

※教室は無料で、申し込みも不要です。また、一回のみの参加でも結構です。